熊府藥物會目録　全

859
3

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3

ガラス使用

859-3

熊府藥物會目録

全

帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3

熊府薬物会目録

ガラス使用

熊府藥物會目錄

著音堂藥物會請啟

夫我泉肥邦于海隅西極魚鹽之地西北四五十里東南山澤七十餘里寒暄生收氣候不齊山川神祇木蕞鬱麋品土物大氏無不有焉此之他邦為西藩第一我先人嘗好本州之學業苟有餘暇則灌園栽圃種藝以為樂遠訪遍遊則必自採取載而歸欲倡明此學者蓋有年矣寶曆乙丑我公始置醫學使先人為教授於是先賢藩產

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3

ガラス使用

次年正藥肆真偽而藩内靡然向風嘗謂天之
生物欲農其人也其土所產能治其病亦至親矣
則醫宜採取以備其藥材耳豈待他邦所齎乎
夫物亦各有遇有不遇苟有不得識者一顧亦
恐朽腐而無終知之者或寓夏輒命諸生會庶
品於再春館亢一日所湊得三千一百六十有八種
先人没後此會殆將不繼余不肖承之再春館
亦執醫柄則欲繼為此會壬午仲夏初六約為
之期再會于再春館雖不及先人之擊缶亦除
前三千一百六十有八種又得四百餘品去年以病

免職私與友人藤井蒐牧二子研窮切磋所得頗
倍前日今茲六月約同好之士又將繼先人之宿志
初六會於余善音堂伏請遠邇君子欲充余之
素願幸賜相顧主品三十種皆具我藩所出不
敢備他產唯欲致示者不必問和華蛮種悉有来
湊庶幾知所以供医治之用矣遠邇君子幸垂
慈照

寶曆十四年甲申二月日

東肥熊藩　邨井椿壽謹啟

社約

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3
ガラス使用

一會之期每年以六月六日為約集在己牌散不
為之限
一會之日余有病有事亦不敢辭諸君子若有病
有事必勅关有欲致示者因便送致
一會之譚要在弁正藥物不許雜議
一會之席食不必設酒不必勸唯烟茶可供
一會之次長幼可序貴賤不等
一遠通君子所在土物及所藏蓄唯願送致苟有
議定則急遍奉返
一會之日若有所不知余者不敢拒焉拒庶品来
者幸賜相顧若不然者敢辞
一會之日諸君子幸誨所識請勿蘊藏余亦不敢
隱爾
一會之品乞評於浪華旭山先生不敢逞私識

主品三十種

一鉛石　鄉語ケイチン
益城郡矢部山ニ出ツコレヲ華渡ノモノニ比スレハ下
品トスコレ乃蘇頌カ所謂火山軍出者顆塊如銅
而堅重如石医家謂之鉛石又焼之成青煙如硫
黄者是也ト今コノ物ヲ焼クニ青煙トナリ硫黄ノ

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3
ガラス使用

臭気アリ謹テ尊評ヲ乞

一石蛇

八代郡鏡ノ濵ヨリ出ツ又薩領カ説ノ所其形盤
屈如蛇無首尾又似車螺ト云モノト云ナラス色灰
白又少ク紅紫色ヲ帯フルモノアリコレ必螺类ノサレ
テ成ル所ノモノ疑ナシ謹テ尊評ヲ乞

齊按以上二種高論至當云ク

一雷斧　郷語カミナリノオノ

コノ物処々ニ稀レニコレアリ唯益城郡鬼ノ原ノモノ最
上品又多ク出ツ宋沈括カ説ニ于震木之下得雷
楔似斧而無孔トコノモノヨク似タリ雷書ノ雷斧如
斧銅鉄為之ト云モノハ恐クハ非ナラン謹テ尊評ヲ
乞

齊老夫按午ノ歳ノ會ニ貴邦鬼ノ原ノ産ト稱ノ
所ノ物ト其形質大ニ異ナリ此物ハ琢磨スルニ
似タリ若自然ニ如此ハ弥奇弥妙ナリ

一木葉石郷語コノハイシ

飽田郡金峰山ノ下ヲモノギ村ト云所ニ出ツ溪水
山間ヨリ流レ出ツ雑樹落葉ノ積テ日色ヲ見ス
傍ノ石ミナ白青ヲ生スル白青ノイマタ成ラサルモノ

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3
ガラス使用

皆コレヲ見ルニ傍ノ木葉落テソノ泥土ニ貼レコトコトク其紋理ヲ存スル儼然トシテ生葉ニ異ナラス久シテ木葉皆化シテ白青ヲ結ヒナス其石皆泥土ノ成ル所ニノ砕之頗ル破レ易シ諸邦出ス所ノ堅剛ノモノアルヲナシ然カモ其木葉ノ結ヒ成スモモ亦数年ノモノニ非ス或ハ二三月ニノ成ルモノナリ是モ亦木葉石ト命スヘキカ

齋按此物似石ヲ非石ス似土ヲ非土ス強テ議セハ花紋石ノ下品ニ属スヘシ即客品中ニ在テ有住生所具ノ奥石ト同類ナラン カ此物強テ命名セント欲セハ印葉石ト呼為ヘシ真ノ木葉石ト可謂者ハ先年ノ會ニ坂戸生所具和州吉野川上入(シホノ)ノ波村ノ産諸木ノ葉秋後零落シテ後皆石ト化ル奇々怪々衆目ヲ驚ス然ニ其質脆ク砕ケ易ノ全キ者少シ惜哉

一方解石 郷語サイノメ石

八代郡海中白嶋ニ出ツ此嶌皆白石層々ソノ中ニ此物ヲ産ス上品ニアラス

一莫蘭藤 郷語カラミカツラ

飽田郡高橋町ニ産ス此物処々多ク産ストイヘ氏

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3

ガラス使用

実ヲ結フモノ少シタ、高橋ノモノヨク実ヲ結ヲ甚シ
辛辣鼻捻ニ異ルトナシ葉ハ甘薯或蔵菜ノ如
シ甚香気アリ謹テ尊評ヲ乞
齊掛スルニ此物葉形ヲ以テ論スレハ尤非ナリ気
味ヲ以テミレハ則是ナリ未知其実似桑椹乎否
一土大黄
益城郡矢部山ニ産ス阿蘇山モ亦多ク出本草ニ
説ク所ノ江淮ニ出ル者ト云大黄トコレナラン今其效
ヲ試ルニ却テ華渡ノ大黄ヨリモ功アリ
一大戟

飽田郡海濱梅黨ニ産スコノ外海濱山中甚多
一山豆根俗称クミヤタヲシ
矢部山ニ出ツ
一鬼見憩俗語ハカマカヅラ
八代蒲葵島ニ出ツ
一延胡索俗語子ツミノアシ又ムギゼリ
延道処々ニ産ス
一水芋俗語ミズイモ
飽田亀井ニ出ツ
一漏蘆俗語クラカケソウ江戸ニテタツマ草ト云

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

金峰山ニ産スコノ物根葉木州ノ園スル所ト異ナラス葉ハ白頭翁ニ似テ地ニ布リ茎ヲヌキンスル事一尺許茎頭碧紫花ヲ開クト雖未醬ノ花ニ似テ大ナリ根モ野コホウノ如シ漏蘆数品アリコレソノ一種ナルカ謹テ尊評ヲ乞

齊桜スルニ此物蘇頌カ所説ノ海州ノ者ニ似タリ未知秋後変黒色辛否

齊謹桜木邦先輩所鑒定此物蓋シ十數種アリ皆未登ルニ似タリ

一朮

阿蘇郡諸山皆アリ気味形状大氏茅山朮ニ类ス

一當帰

阿蘇郡諸山マレニアリ

一黎蘆 郷談シエロケ

飽田郡松丘山ニ生ス葱菅ノモノナランカ

一苓蘆 郷語グンバイウチワ

宇土郡牧山海濱沙地ニ生ス茎葉荊莫ニ似テ高シ大氏七八寸又ヨク薺ニ似タリ実ハ茎端ニ生シテ角子ヲ結フ扁小ニシテ炭中数子アリ味苦ク花ハ薺

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

ノ如クニシテ微黄真ノ菩薩ナルカ謹テ尊評ヲ乞

齊按此說可謂至當矣但未知其味徹頂平否然而和產藥物形細味薄者多シ不可一概論

一金花蘭 乃俗語

矢部山ニアリ大木上ニ寄生ス又金蘭ト名ク邦俗蘭ト名クルモノ至テ小ナリ葉ハ七八分或一寸以来葉々相對シテ五六葉連綴ス根多シ夏月花ヲ開ク迷蘭ノ花ノ如ク黄色ニシテ大サ大豆粒ノ如シ本名イマダ知ラス謹テ尊諭ヲ乞

齊按此物未詳漢名

一枳 俗語カブス 松丘

一秦皮 俗語ニガキ方言ト子ウ 矢部

一桂 家園

一冬柿 家園

一芫花 家園

一蜥蜴 俗語シケムシ又シテムシヤ 益城郡飯田山

一地膽 俗話アリノヨヤチ 矢部山

一斑猫 飽田郡万日山

一龍虱 近道水田中ニ生ス

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3

ガラス使用

一海蛆　郷語フナムシ　飽田郡近津海辺
一熊膰　琥珀ヲ　又キンイトヲ云　矢部山
一十二時蟲
齊按スルニ項背不有肉鬣又其足不長又其尾短而不與身葬但是守宮尾圓而尖此者尾偏而如鰻魚尾為長耳今以其尾與守宮尋謂之為十二時蟲者尤夫不得決其可不可矣

容品名物總目

一鶴頂草　江州伊吹山産
一澤蔦　二品　一毋州種一仙臺種

一艸解草

一矮蘂　濃州鷲鶏飼洞産長二寸以上三寸以下
一樺木　赤白二種俱信州木曽産
一樺皮　赤白二種松前産
一瓜蒂　越前産
一綿大戟　古渡今藥肆絶無
一松子　播州高砂尾上名産
一野蘭　琉球産
一覲殼　二片一參州新居一羽州象潟産

已上十五品戸田先生

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

一石綿 播州産大石中ニコレヲ得
柂桜石綿ノ字考フルニ所ナシ本名カ又俗稱ニヨル
カ何ノ書ニ出スルヤ此物世ノアル所ノモノヨリ柔軟
ニシテヨク艸綿ニ似タリ
齊桜石綿着和名漢名石絨見清衰棟書隠
叢説火浣布下
一火照炮 紅毛産
柂桜火照炮ノ称和名ニ似タリ又中華ノ書ニ出ス
ルヤ
一焼朱化石 仙臺高館ノ城趾産

柂桜 コレ西陽雑俎ニノスル所ノ燃米ト異ナリコノ
物土石ノ内ニ夾リ出ツ色白クシテ生米ノ如シ燃米
ハコレ和州平野郡信貴山毗沙門堂奥ノ院米尾
ノ産及我藩菊池郡不動倉ノモノ真之コレマサニ
米化石ト呼ナスヘキカ生米ノ土石ニ化スルモノナリ
焼ト云フヘカラス若シ又焼ナラハ化ノ字マサニ刪ルヘシ
一櫻石 丹波櫻ノ天神社内産
柂桜ニ苑紋石ナルヘシ
一スルスミ石 隠岐州産 鎌倉右大将秘藏名画産土ノ石
柂桜スルニコレ烏金石ノ類ナラン 南都氷谷川上ニ産

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

スル所ノ石墨モ亦此紋アリ但シ石墨ノ上品ニメ
書スヘキモノニ非サルカ
一我藩南部宇土郡ニ牧山アリ多ク馬ヲ産ス山
麓海ニ近シ池村ト云所アリ小池アリ乃鎌倉ノ右
大将梶原ニ賜フ所ノ池ツキトモ云名馬此所ヨリ産
スト云今ソノ海辺池村ニ近キ許ヨリ馬蹄硯ヲ出
スコレ又スルスミ石ノ類ナリ今コヽニ附ス
一瓢石 濃州有馬産
桃梅ニ又花紋石ノ種類ナランカソノ紋ミナ全瓢
アリ

一然土 越後産
桃梅スルニスクモナラン江州能州ノモノト同シ本名
土薪ト云是ナルカ
一燃水 月上
桃梅日本紀ニ出所謂石腦油
一紅花 石形状ヲ以テ名ク実ハ珊瑚根ナラン
桃梅ノ物出処ヲ詳セストイヘ共州珊瑚濱ノモ
ノナラン
一海松露 播州高砂海中産
桃梅ノモノ本名イマタ考ヘス我藩海中モマヽアリ

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

已上十種播州高砂三浦迂齋兄

一玄精石漢渡

一鐘乳 和州大峯 洞中產上品

一桃華渡ノ鷲石トコトナルコレ鐘乳ノ中ニ鷲翎ニ似タルモノ

一烏藥葉

一白藥子 漢渡

一白棯子 紀州產 和名ハチノコカヤ

桃桜スルニコレ水ニ漬レテサラシタルモノナラン

已上五品浪華宮城玄恵兄

一磁石 甲州御嶽產

一靈棯 越中立山產 和名ゼンジヤウ松

已上二品浪華木邨吉右衛門兄

一石膏 河州交野郡產

一婆羅得 不記出處

一獨脚仙 和州金峯山產

一杉葉 方言ニテサクラ不記出處

已上四品河州中野村童園見昌兄

一明砂 不記出處

一烏藥 唐種重出

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3

ガラス使用

一金星石 但馬生野産
乙上三品大坂大口怒安兄
一水精砂 和州南都産
一焼米砂 和州平野郡信貴山門堂奥院米ノ尾ヨリ所ニ
乙上二品内田七右衛門兄
一太一角餘粮 河州伊駒山産
右一品河州若江郡中西村前田彌治兵衛兄
一青滑石 和産不記其出処
一硬石膏 城州産
乙上二品大阪林隆庵兄

一杉石 和州芳野川上産
枇杷ニ色淡紫ニシテ鞭金ノ如シ我藩在ルモノ鞭滑
カタカラス
右一品河州平野村坂戸孫三郎兄
一代赭石 漢古渡
一緑礬 勢州産
一黒石脂 城州北山産下品
一石蛤 美濃産
一ヒテノ木ノ化石 能州石動山産
枇杷ルニ不灰木ノ類ナラン

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3
ガラス使用

已上五品大坂山田順庵兄

一石英雲母　河州鏡山産

桃桜ノ二石英雲母イマタ出書ヲ考ヘス コレ石英中ノ雲母之

一紫石脂　城州上品

一青馬腦　佐渡

一滑石　京三條東大日山産

一海燕　シトデ　リウクウタケトモメノイトマキ

已上五品大阪山田正因兄

一石炭　紀州千里濱産

一松化石　不記出処

一木葉石　播州奥畑産

一石膽二種　一八千年前漢渡

一石膏　和州産

已上六品大阪古林杏節兄

一石梅　紀州産

一石花　紀州産別種

一石炭　同上品

一凝水石　同上

一石綿　同上

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3

ガラス使用

己上五品山瀬治右衛門兄

一金剛砂 阿州古市郡飛鳥村産

右一品田中祐蔵兄

一卫レン艸白薬子黄薬子ノ類ナラン

杜謹テ考フルニ此モノ我藩ニテカラカサソウト云物ニ似タリ

右一品和州松山森駒賽郭翁

己上五州十五人六十四種五月八日領納

一防己一ツ、ラフシ一ハスノハカツラ

杜云我藩ニテフウトウカツラト云田村氏ヨリ千金藤トス未タソノ是非ヲシラス

齊桜玄達先生ノ曰防己ノ和名ツヾラフヂナトハ誤レリツタノ葉カツラト云モノナリト又蔦葉蔓モ防己ノ下品トストナレハコノ二種倶ニ防己ナラン然レド此蔦葉蔓ノ葉ハ蔦頭カ所説其葉小類辛牛葉スト云モノト吳ナリ又且先生モ座席物産ナレハ信用シカタシ其根ニ車輪文アラハ防己ノ下品ナルヘシ

又桜スルニ田村氏ノ千金藤ト名ツクル者恐ラクハ非此物別ニ一種蔦葉蔓アリ葉ノ小サク如銭而

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3

ガラス使用

其紋理亦如荷葉卽是藥須カ所云千金藤数
種中ノ一ナリ田村氏所指者是歟
一靈樞 立山産 重出
柀桜ニ靈ノ字考フル所ナシ何書ニ出スルヤ恐ハ是
玉樞ナラン灵樞トハ和稱ナルカ
已上三種杉野佐兵衛兄
一太乙禹餘糧 和州生駒山産 和名イワホ
柀桜ニサキノ出ツルモノト別品
齊桜此物非生駒之産又非太乙餘粮不知是何物
一禹餘粮 南都水谷川産
齊桜此禹餘粮ハ漢産古渡ニ髣髴タリ而レ氏
中実無粉依古渡漢産モ亦中実無粉者アリ
一石墨 用上
已上三種井上平九郎兄
一青石脂 和州三笠山産
一赤石脂 和州芳埜産
一黒石脂 城州黄船産
已上三種和南養軒兄
一洗石 和州三笠山産方言アカスリイシ
柀桜ニ本名何ノ書ニ出スルヤ

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

南都藤田生云山海経西山経華山之首曰銭来之山其上多松其下多洗石云々郭曰澡洗可以磨(字彙初両反磋瓦石洗物)體去垢垽云云呉任臣梅楊慎云洗石去垢之石今南中有之

一石蠶 南都産
已上二種安倉茂左衛門兄

一草膠 手製

一樺皮 一メカバ 一ヨカバ 松前産
已上二種古梅園松井和泉兎兄

一榛皮 一大葉 一小葉 一榛

梔梅スルニ大葉ノモノハシハミナラン然ラハ榛ノ字是ナリ一小葉ノモノハト子リニ然ラハ秦ノ字用ユヘシ

一ボダイジュ 一木欒子 一欒華センタンヤウ
梔梅ルニ木欒子欒華モトコレ一種木欒子ハ楽華ノ子ニシテ今木楽子ト稱スル所ノモノ和名ボダイジュ乃菩提樹ナリ楽華ト稱スルモノハ和名モクゲンシユト云木患子ニアラス木楽子ノ称如何
已上四種矢野意計兄

一雲母 三笠山産

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

一紅麴 漢產
已上二種藤村佐兵衛兄
一黃連四種 一五加葉 一菊葉 一大葉 一芥葉
一草蔻蓉 和州諱山產
一椿二種 一城州北野產 實椿 一城州新田產
已上七種藤四七兵衛兄
右南都人士九八人二十七種五月二十三日領納
一茅山蒼朮
一廣東橘皮
一川中黃連

已上三種長嵜 柳陰元
一白膽礬 華產
枇杷白礬之俗稱乃黃礬
一巴旦杏 紅毛產
一自然銅 華產
一玄石 同上
一鄰青 同上
一八ツ子ノサ 箱根山產
齋梅此物一名ヘニ子ト大蓋蛮名欤石長生ト愛之
已上六種長嵜樑嶌道齋

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

一薇蘅華産

枇杷スルニ此物華産トイヘル本州トク呼ノ物ニ非ス
枯槁又分別シカタシ謹テ高評ヲ乞
齊梅此物可殺ニ依テ評ヲ老杜ニ乞フト雖ニ老
杜親リ此物ヲ覩ルヿヲ不得レハ評ヲ加ルニ由ナシ措
テ不論然レモ嘗テ嵩人ニ聞リ山本生ハ累世藥物
賞鑒職ニ近コロリノ素餐ヲ恥テ田村氏ノ門ニ遊学
スト然ラハ則此物真ニ非ルヿナカラン敦又梅スルニ三十年
前商舶藕(ソウ)粉(セン)ヲ将来ルニ依テ發賣シテ浪華ニ到ル
老杜嘗試之非藕粉即是厳粉ナリ憶フニ是賞鑒
家ノ固蓂ニメ唐人ニ瞞セラレ、耶抑又本地好商人
ヲ欺ク耶亦未可知姑リ書ヲ以為話柄

一海椰子紅毛産

已上二種長崎山本利源次

右他郵容品一百一種

一水玉

梔梅乃氷精ノ水ヲ包ムモノ大サ消梅子ノ如シ内ニ七
分許ノ水アリ明瑩愛スヘシ重サ和秤ノ三分アリ上
ニ小鼻アリ蛮人ノ説ニ此物ヲ藏セハ海上或ハ軍中
ニテ陽ニアルトキコレヲ以水ヲ取ルノ法アリト謹テ高

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

評ヲ乞フ

齊桜玉ト水精ト相似タリト云ヒ同類異種不可
混然トシテ高評ヲ考ルニ別是一種ノ白玉欤真可謂
ニ天宝ニ矣往年尭天薬物會ノ時贋水水精ヲ具
スルアリ其長五寸許圍五寸許中ニ水六七分アリ轉
倒ニ遑ヲ水亦下流布有ノニモノナリ又昨年ノ會ニ白
石英ノ長五六寸周圍五六寸中贋水八九分是亦希
物ナリ

山田生曰疑ラクハ昔紅毛人所將来ノメカフト呼
為モノナラン予嘗聞ク其物至テ圓小ナル硝子ノ上
ニ紐アリ中ニ藥水ヲ貯フ紅毛人謂フコレヲ以テ眼
睛ヲ摩レハ能ク目ヲ明ニスト云

右一品米田太夫

一石ノアブラ　矢部白小野村産

一地漿　同幸川村産郷詰カニクソ

一エノキナバ　同犬飼村城趾産

一直根人參　同

桂桜ニ和州芳野山産ト吳ナルヿナシ

一零陵香　同郷詰ニヤカウソウ

已上六種矢部医士赤星見淳

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3

ガラス使用

一鐵朱 矢部山產
一温石 同
一鐘石 日向州高知穗山產
一ツチスミ 矢部山產
一キノクタ 日杉木ノ中ヨリ出山人血トメトス
一ハカマソウ 同
一石長生 同
一カラカサソウ 同
一藜蘆 同
一菴蘭 同
一カヂ 同山椒葉樣
已上十一種矢部医人柴田宗碩
一鍾乳石 球磨產
一鱗蛇皮 華渡
已上二種再春館司貨太田久治
一石貝 薩州北產
一タバイコン
齊掖タバイコンハ即豊和名田大根ナルヘシ然則漢名水蘿蔔也
一木瓜

一無名石三種 コレメノ帯石出処形状ノ異ナルノミ
已上六種 野村孫左衛門
一砒石 華渡
一硫黄 阿蘇山産
一山査子 家園
已上三種 熊府医人伊佐元登
一赤石脂 佐渡川産上品
桃桜ニコレ桃花石ナルモノ剛滑光澤真ニ桃花
華渡トイヘド亦及フトナシ
一代赭石 華渡中品中古渡ノモノ

一石墨二品 一和州春日山産 一江州鎖縣郷産
桃桜ニ江州ノモノハ上疑ハ黒石脂ナラン
一焼石 信州浅間山産
一熬海鼠薩州産トセモト琉球ヨリ来ル
桃桜コレ腹ヲサキ熬スルモノ本邦ノ物ニ比スレハ大サ三倍形色モ亦異ナリ
齊桜熬海鼠ハ熬海參ノコトナラン乎和名イリコ
一小章魚薩州産
桃桜大サ蚕蛸ノ如シ小章魚ト呼ヒナスヘシ
齊桜章魚小者呼為塗蟢又作土僖見典籍便覧

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

一紅麹　漢産
一藕粉　浙江省杭州府産
一海盤車　肥後産
一古磚　太宰府都府樓古瓦
一龍齒
枇杷ノ物京師ノ商人富屋某カ持シ来ル所ノ
備前小豆嶌海中ヨリ得タルモノト云ヘラス唯小ナ
ルノミ松岡先生以テ竜ノ牙歯トスコレ石ナルヘシ
齊嘗聞世自海中出ル枯骨ノ類ヲ以テ松岡先
生ノ鑒賞ヲ乞フモノアルコトナシ皆好商ノ俗ヲ瞞
スルモノニ
已上十一種本藩烏銃隊二十名長高橋彌十郎
一蛤蚧　華渡
一ヒリ、　紅毛産
一紅麹　華渡
一金星石　土郷山中産
一銀星石　同上コレ雲母ノ下品ナラン
一燕窩菜　華渡
一見膽消　八代産
齊按見膽消ニ種アリ一ハ本綱ニ所出桑葉背紫

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

色ノ者一ハ藥性纂要ニ所出方茎柳葉ノ者而今
此ニ所具ノ者其形狀ヲ記セス不審　嘗聞田村氏
ハルダマ一名スイゼンサウヲ以テ本綱ノ見腫消ニア
ツト尭拙未知其的當乎否
已上七種本藩典藥町野玄壽嗣子町野玄璋

一蛇啣草　家園
杤掇ニコレ必半夏ノ一種ナラン三葉高ニ一尺以来花
モ亦半夏トニ天ナラス

一毋參　菊池姫井村產
藤井生云毋參ニ非ス山洋根ナリ

一百部華種
杤掇蔓草長五六尺葉常ノモノニ比スレハ尖長
齊掇即是鄭樵カ通志ニ所載薯蕷葉ノ者欤此
物葉上九道ノ縱文アリ又唐種ト稱スル者ハ葉蔓
皆短小葉上縱文五道ノミ
又掇鄭氏通志ノ百部ヲ時珍未見ヲ以テ妄ニ非
トス可謂固陋矣
已上三種熊府壺井医人宗梅醇

一木香　家園
一トラノヲ　童田山產

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

已上二種菊地医人桑満元俊

一白木華種

一山茱萸 家園

一スラニカステン 紅毛産

齊梅 スランカステイン漢名吸毒石見泰棟書隠

叢説

一眼茄 同上

齊梅眼茄ハ和名之其能ヲ以テ名ツクルノミ漢名ハ

緬茄見遵生八牋

又按此書嘗テ商舶載来者実本多シト雖モ其

説大同小異或ハ彼ニ在ルモノハ此ニナシ此ニアル説ハ彼

ニナシ或ハ亦各部ノ説皆同キ者モ有之終真假ヲ

弁スルヿヲ得ス學者宜知所選也

一カナノウル 同上

一赤旃檀

一馬糞石 本名未考

此物病馬糞中ニ交リ出ツ大サ鶏子ノ如シコレヲワレ

ハ重畳シテ数斗ニナルモノニ似タリソノ色ニホキナル

モノアリコレ馬大豆ヲ食フ時ソノヨク熟セサルモノ

アレハ遂ニコノ病ヲ生スト云今コレヲ験ミルニマコトニ

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3
ガラス使用

然り謹テ高評ヲ乞
齊按此物白龍砂ノ着タルヲ
炙シノ猶牛之生黄乎其所出ノ上下ニ拘泥スルヿ
勿カランカ
一萬歳亀 イギリイスノ産
按按
コレ即千万歳亀ノ甲ナリ黒文黄理画カ如ク刻ムカ如
シ大サ常亀ニ比スレハ長ナラスタヽ甲高深ナルノミ方
歳亀ノ名コレヲ考ヘス
齊按千歳亀ノ名謂ハアレヒ千歳亀ノ説未及見
一鼈荅

枕按鼈荅ハコレ馬腹中ニアルモノ大サ朱栗ノ如シ
齊按馬腹中ノ堀謂之墨此物ハ諸畜皆有之故
時珍曰鼈荅走畜及牛馬諸畜肝膽ノ間ニ生スト
又按此物偽似或ハ有之不可不弁其真者光滑刀
ニテ削之ハ細膩如麪偽者削之ハ碎々トメ粗ク又
其似テ非ナルモノハ井泉石ナリ生田野其形色正
円偏邪大小不均亦層々重疊スルヿ並鼈荅ト
無異但削之ニ最モ堅キノミ
一古瓦 出処ノ失ス
枕按古瓦ハ鬼面ノ紋アリ疑ラクハ国分寺ノ瓦ナラン

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3
ガラス使用

已上十種 熊府藥肆本田善之亟

一魚石 壹枚産
枇杷ノ物石ニ非ス泥土ノ魚形アルモノ然レ共花紋石ノ類ナリ

一石蚣 鄙語カメノテイシ

一水精 不記出処

已上三種 熊府古町匠人有住祐安

一琥珀 筆産

一薫陸 同上

已上二種 馬見原医飯星元達

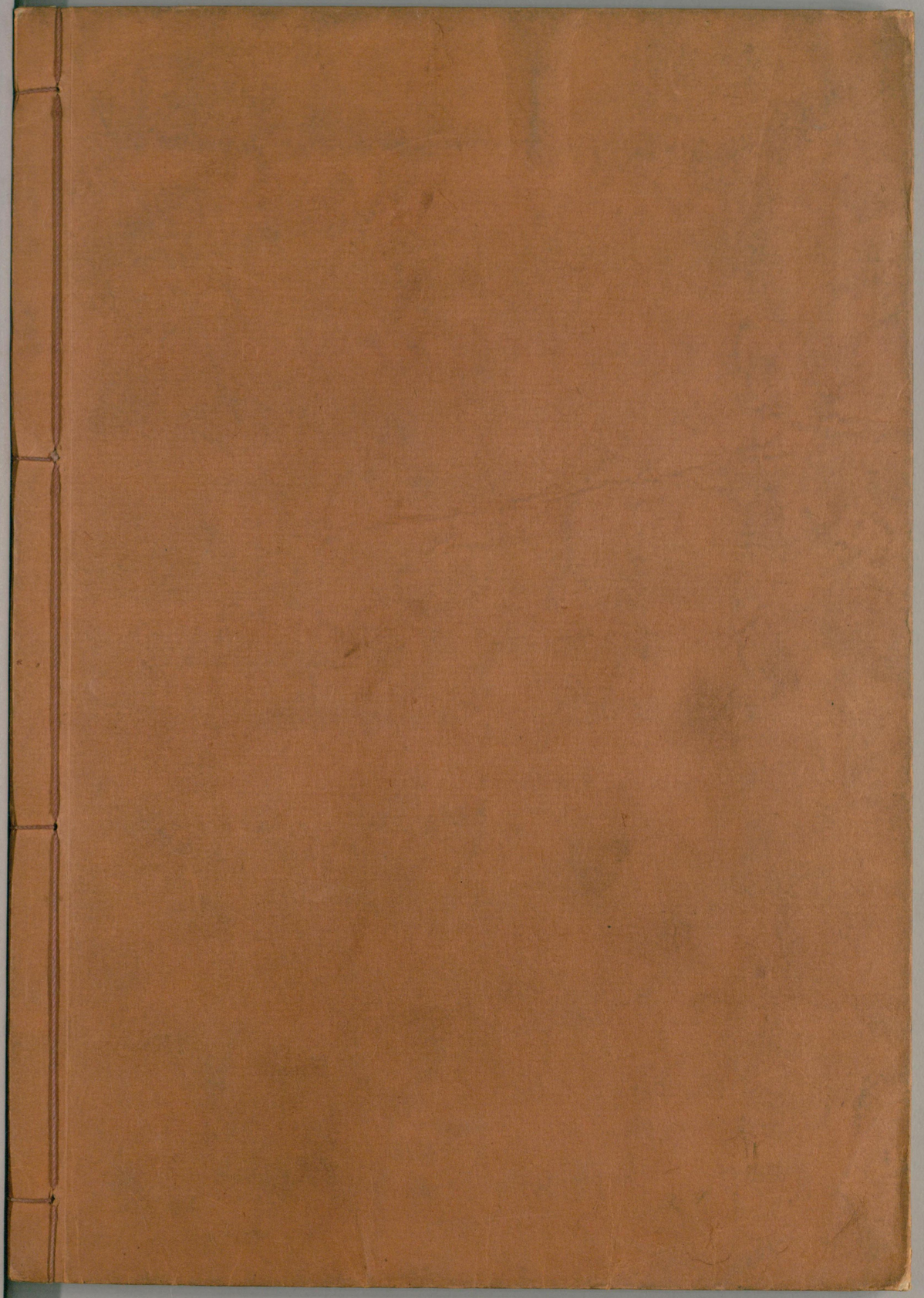
一虎掌 五種
枇杷ニ三葉大ナルモノハ大半夏小キナルモノハ田跋ノ餘ミナ天南星ノ別品
右失名

右藩内容品七十有二種

859
3

国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』　請求記号 859-3

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『熊府薬物会目録』 請求記号 859-3

ガラス使用